

いよいよ新年度が始まりました。新しい生活が始まるのは、期待も不安も相半ばする、ちょっと複雑なところがありますね。実は私もちょっとだけ仕事が変わったので、新研修医の人たちほどではないのですが、まごついています。

さて、例年新入職員に対しては1週間ほどのオリエンテーションが行われます。内容は事務的なものから職務倫理、人工呼吸器の取り扱いなど多岐にわたります。

ここ数年間行っている恒例の豚側縫合やシーネ固定実習などwetlabo的な取組も行われました。

大学によっては学生時に患者さんの縫合をしたことがある人もいれば、全く触ったことがない人もいて、それぞれ違う大学から来たという多様性が、研修医間の距離を縮める良いきっかけになっているように思います。

縫合の実習は2時間近く、形成外科の先生方二人に2年目研修医も加わって指導に当たり、種々の縫合法を学んでいました。弾機針に糸を付けるのも、やったことがなければ難しいものです。

シーネ固定実習で、まず三角巾の付け方が説明されていましたが、実際自分でつけたことがある



人（誰かに付ける／自分が付けた）はだれもいませんでした。名前は知っていても案外したことがないという事は沢山あるのですね。

駆け足で行われたオリエンテーションですから、忘れてしまう事も多いはずですが、忘れても良いので分からなかったら調べる、調べがつかなかったら聞く。うろ覚えが一番危ないのですよ。

（私も身に染みっていますが、なかなか治りません）

座学もありますが、実習もあります。

豚はデンマーク産でした。

